

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2008-290387(P2008-290387A)

【公開日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2007-139350(P2007-139350)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 29/00 D

B 4 1 J 29/00 S

H 0 5 K 9/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の方に並ぶ複数の伝送線においてグラウンド線が連続して並ぶグラウンド線群を含む第 1 ケーブルと、

前記第 1 ケーブルに対向するように配置され、前記所定の方に複数の伝送線が並ぶ第 2 ケーブルであって、電圧変化する伝送線が前記グラウンド線群を包括する領域に対向するように配置される第 2 ケーブルと、
を備える液体吐出装置。

【請求項 2】

前記グラウンド線群において連続して並ぶ前記グラウンド線の本数は、前記電圧変化する伝送線の本数よりも少なくとも 2 本多く、

前記第 2 ケーブルにおいて、さらに、前記電圧変化する伝送線を挟み込むようにグラウンド線が配置される、請求項 1 に記載の液体吐出装置。

【請求項 3】

前記電圧変化する伝送線は、送信する信号と該送信する信号を反転した信号とで構成される差動信号を伝送する、請求項 1 又は 2 に記載の液体吐出装置。

【請求項 4】

前記第 1 ケーブルの一方の端部と前記第 2 ケーブルの一方の端部とが接続する第 1 部材と、前記第 1 ケーブルの他方の端部と前記第 2 ケーブルの他方の端部とが接続する第 2 部材とは、互いに相対的に移動する部材である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 5】

前記第 1 ケーブルの一方の端部と前記第 2 ケーブルの一方の端部とが接続する第 1 の接続部と、前記第 1 ケーブルの他方の端部と前記第 2 ケーブルの他方の端部とが接続する第 2 の接続部とは、互いに相対的に移動しない接続部である、請求項 1 ～ 3のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 6】

所定の方向に並ぶ複数の伝送線においてグラウンド線が連続して並ぶグラウンド線群を含む第 1 ケーブルと、

前記第 1 ケーブルに対向するように配置され、前記所定の方向に複数の伝送線が並ぶ第 2 ケーブルであって、電圧変化する伝送線が前記グラウンド線群を包括する領域に対向するように配置される第 2 ケーブルと、
を備える信号伝送路。